

アンディ・ガルシア

リチャード・ドレイファス


正義だけでは勝てない。

ニューヨーク

NY 検事局

シドニー・ルメット監督作品
レナ・オリン イアン・ホルム

SPELLING FILMS PRESENTS A MOUNT/KRAMER PRODUCTION A SIDNEY LUMET FILM
ANDY GARCIA RICHARD DREYFUSS LENA OLIN IAN HOLM "NIGHT FALLS ON MANHATTAN" JAMES GANDOLFINI COLM FEORE AND RON LEIBMAN
"I" MARK ISHAM "E" JOSEPH G. ALLISI "S" SAM O' STEEN "P" PHILIP ROSENBERG "A" DAVID WATKIN "C" HOPKINS SMITH & BARDEN "D" DANNY BRAMSON
"O" JOHN H. STARKE "T" TAINTED EVIDENCE "BY" ROBERT DALEY "AND" THOM MOUNT AND JOSH KRAMER "STORY" SIDNEY LUMET
原作:ロバート・テイラー「聖たちの証」ソニー・マガジンス刊/Market Research by GAGA MONITORS 1000/ギャガヒューマックス共同配給

<http://www.gaga.co.jp/>  <http://vic.co.jp/vin/>

GAGA-HUMAX

DO 

© 1999 SPELLING FILMS INTERNATIONAL, A DIVISION OF SPELLING FILMS INC.
ALL RIGHTS RESERVED. IN ASSOCIATION WITH SONY PICTURES CLASSICS
A DIVISION OF SONY PICTURES ENTERTAINMENT INC.



In a city of nine million people is there room for one honest man?

NY警察署内の贈収賄汚職、 検事が追及するのは正義か真実か？ それぞれの正義を賭けて戦い続ける 人間たちのドラマが今、始まる！

全米すべての一流メディアが絶賛！公開と同時に早くもアカデミー賞候補との呼び声も高い、シドニー・ルメットの映画監督40周年記念作品となった衝撃作「NY検事局」がついにその全貌を現す。

NY、マンハッタン。ショーン・ケイシーは33歳。現職刑事を父に持ち、自らも警官を勤めながら、大学で法律を学び、晴れて検事候補に任命された。

同じ頃、ケイシーの父リアムは、相棒のジョーイと共にNY最悪の麻薬王、ジョーダンを追いかけていたが、そのアジトを急襲した際、銃撃を受け、瀕死の重傷を負ってしまう。

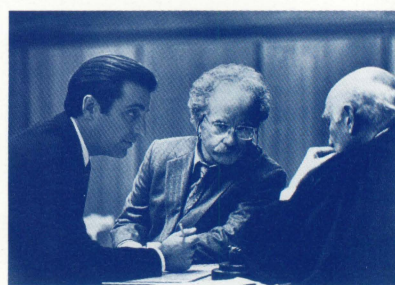
現場に駆けつけた警官隊からも3人の殉職者を出し、しかもジョーダンは逃亡という最悪の結果となったこの事件の翌日、検事局長は担当検事としてショーンを抜擢した。一方、逃亡を続けていたジョーダンは、人権派の辣腕弁護士ピゴダを伴い警察に出頭してきた。明らかに不利なジョーダンの弁護をかってたピゴダの真の狙いとは何なのか？

裁判が始まり、ショーンは初舞台で鮮やかな勝利を収めたが、本当の事件はここから始まった。ジョーダンが裁判中に口にした麻薬捜査官の贈収賄汚職である。

内務監察課と共同で捜査にあたるショーンは、思いがけない名前を容疑者リストの中に発見した。それは父リアムと相棒ジョーイの名前であった。父は“白”なのか“黒”なのか？ショーンは果てしなき疑惑の奈落へと落ち込んで行く。そんな彼のもとにピゴダから電話が入った…。

完璧なキャスト。 ジャンルを代表するスタッフ。 名匠ルメットの最高傑作ここに誕生！

ショーン・ケイシー検事には「男が女を愛する時」(94)のアンディ・ガルシア。公務と個人の感情に引き裂かれるアンビバレントな役どころを繊細かつ情感豊かに演じ、彼の最高作として大きな喝采を浴びている。ピゴダ弁護士には「陽のあたる教室」(95)のベテラン個性派、リチャード・ドレイファス。真実の追及の為に、凶悪犯の弁護も厭わない、一筋縄ではいかない人物像を的確に造形している。ピゴダ弁護士の美しく優秀な助手には「蜘蛛女」(94)のレナ・オリン。ショーンの父、現場叩き上げの刑事リアム・ケイシーに、イアン・ホルム。検事局長モーガンスターンに舞台を中心に活躍している個性派ロン・リーブマン。この映画ではホルム、リーブマンの他、主人公を取り巻く個性豊かな助演陣のアンサンブルが、作品の群像劇としての性格を際立たせ、一層見応えのあるものになっている。



監督・脚本は名匠シドニー・ルメット。1957年の「十二人の怒れる男」から40年、「質屋」(65)、「セルビコ」(73)、「狼たちの午後」(75)、「ネットワーク」(76)、「評決」(82)、「ファミリー・ビジネス」(89)等、NYをホーム・グラウンドに数々の傑作、秀作、問題作を発表してきた社会派ルメット監督の40本目の監督作となるこの映画は、自身の終生のテーマともいえるべき、「善と悪」、「法と正義」、「個人と組織」そして、NYの街に生き、NYの街に死す人々を複眼的な視座から捉えた渾身の集大成として、全米マスコミから驚異の大絶賛を集めている。

「NY検事局」が描いているケースは、アメリカと同じように深刻なモラルの崩壊、政治腐敗が進行している日本の社会にも見事に当てはまる。善も悪も表裏一体と化し、何もかも複雑で、物事を簡単に見極める事が出来なくなってしまう現代社会を生きている人達にとって、この映画は必見というべき今年度屈指の問題作である。



- アンディ・ガルシア「男が女を愛する時」(94)
- リチャード・ドレイファス「陽のあたる教室」(95)
- レナ・オリン「蜘蛛女」(94)
- イアン・ホルム「フィフス・エレメント」(97)
- 製作：トム・マウント「ディアハンター」(78)
- 原作：ロバート・デイリー「イヤー・オブ・ザ・ドラゴン」(85)
- 撮影監督：デビッド・ワトキン「愛と哀しみの果て」(85)
- 美術：フィリップ・ローゼンバーグ「オール・ザット・ジャズ」(79)
- 編集：サム・オスティーン「チャイナタウン」(74)

NY検事局

シドニー・ルメット監督作品

原作：ロバート・デイリー「墜ちた証証」ノニー・マガジンス刊/1997年/アメリカ映画/カラー/ビスタサイズ/ドルビーSR
上映時間：1時間53分/ Market Research by GAGA MONITORS 1000 / キヤガ・ヒューマックス共同配給

GAGA-HUMAX

今秋ロードショー！

特別鑑賞券(一般¥1600/ペア券¥3000)発売中

有楽町マリオン9F

丸の内ピカデリー2 (3201) 2881

コマ劇場前・ヒューマックスパビリオン4F

新宿ジョイシネマ2 (3209) 6180

公園通り・ヒューマックスパビリオン4F

渋谷ジョイシネマ (3462) 2559

伊勢佐木町2丁目交差点

横浜セントラル (261) 2790